

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表



社団法人

建設荷役車両安全技術協会



ま え が き

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持する為には、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

その為には、チェック結果の良否の判断のもと、及び整備作業のもととなる基準が常に利用できる状態にあることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、今般、当協会は特定自主検査対象機種について「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供することと致しました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の全製品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの御賛同と御協力を得て、ここに「コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨に御賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心より御礼申し上げます。

なお、今後は定期的に改訂版を発刊する計画であり、今回の版の基準値表リストからもれたモデル、及び収録以後の新規モデルについては、次版にて収録する予定としています。

平成 12 年 4 月 1 日

社団法人 建設荷役車両安全技術協会

会 長 水 町 長 生

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表の作成にご尽力くださった方々は次のとおりです。

委員長 川 本 節 男 極東開発工業 株式会社

委 員 軽 部 完 プッツマイスタージャパン 株式会社

〃 近 藤 澄 男 株式会社 岩田商会

〃 清 水 正 樹 石川島建機 株式会社

〃 中 里 健 次 三菱重工業 株式会社

〃 萩 原 洋 一 株式会社 新潟鐵工所

〃 舟 井 克 輝 株式会社 大一・テクノ

〃 山 中 章 男 株式会社 シンテック

事務局 下 田 昇 社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〃 福 塚 晃 〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ねミニ、小型、中型の3サイズに分類してあり、要すれば各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。
- (4) 同一製品がOEM供給元とOEM供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成11年9月末現在迄に日本国内において製造又は販売されているモデルを極力収録してあります。

この時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

収録からもれてしまったモデル又は収録以降の新規モデルについては、今後定期的に行う改訂版の発行の際に収録し掲載する予定です。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、コンクリートポンプ車（トラック式ブーム車・配管車）の小型・中型・大型を収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成5年12月付け公示16号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2) 「新車基準値」の表記

「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に*を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

目 次

石川島建機	IPF50TE-4N～……………	2
	IPG115B-6N29～……………	6
岩田商会	IC-40H～……………	16
極東開発工業	PY21-51～……………	22
	PY120-33～……………	26
	PH10-50, 50A～……………	30
	PH80-26/-26A～……………	36
シンテック	MKW-35CB～……………	38
大一・テクノ	35SL～……………	42
新潟鐵工所	NCP7FB～……………	46
プッツマイスタージャパン	BSF36.15H～……………	52
三菱重工業	DC-M700BR～……………	55

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h	50	90	50
			最大吐出圧力	MPa	4.6	7.4/4.8	4.8
			ブーム最大地上高	m	—	—	14/16
		適用号機		IPA33001～	IPA35001～	IPA26001～ IPF11001～	IPA66001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	40±1	37/26±1	40±1	36±1
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	32±2	32±2	32±2	32±2
		チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	15±10	15±10
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量					
		ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	1	1
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	1	1
		(測定時間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)
		(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	—	—	19±10	19±10
		ブーム (1) 縮み	sec	—	—	45±10	45±10
		ブーム (2) 伸び	sec	—	—	30±10	30±10
		ブーム (2) 縮み	sec	—	—	45±10	45±10
		ブーム (3) 伸び	sec	—	—	30±10	30±10
		ブーム (3) 縮み	sec	—	—	30±10	30±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	30±10
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	30±10
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		水圧	MPa	2.6	4.1	2.6	4.1
		飛距離	m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)	0.7(オフショ)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29	IPG90T-12E	IPG115B-8E26/4
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	揺動弁	揺動弁
90	100/64	100/64	100/64	100	100	90/50	115/74
4.8	8.4/5.4	8.4/5.4	8.4/5.4	6.2	6.2	12.2/6.8	7.3/4.7
21	21	21	26	27	29	—	26
IPA40001～ IPA42001～	IP97001～	IPA55001～	IPF12001～	IP98001～ IPA37001～	IPA59001～	IPG11001～	IPA69001～
検 査 基 準 値							
41±1 —	41/26±1 —	36/25±1 —	35/22±1 —	40/36±1 —	32±1 —	33/18±1 —	35/22±1 —
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	-(2000) (—) (50 ± 5)
36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)
— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)	— (—) — (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	— — — — —	1 1 1 1 1
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(—) [—] [図 No.]	(10) [—] [図 No. 1]
45±10 70±10	45±10 70±10	45±10 70±10	40±10 60±10	75±10 75±10	75±10 75±10	— —	40±10 60±10
50±10 60±10	50±10 60±10	50±10 60±10	60±10 60±10	80±10 80±10	80±10 80±10	— —	60±10 60±10
50±10 45±10	50±10 45±10	50±10 45±10	60±10 60±10	70±10 70±10	70±10 70±10	— —	60±10 60±10
— —	— —	— —	50±10 50±10	— —	— —	— —	50±10 50±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(—) (50 ± 5) [図 No.]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]
— 4.1 —	— 4.1 —	— 4.1 —	— 4.1 —	— 4.1 —	— 4.1 —	— 10.2 —	— 4.1 —
0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)	0.7(オフショソ)
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)

適用範囲		モデル名		IPF50TE-4N	IPF90T-7E	IPF50B-4N14 IPF50B-5N16	IPF60B-5N17/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	滑り弁	滑り弁	滑り弁
			最大吐出量	m ³ /h 50	90	50	50
			最大吐出圧力	MPa 4.6	7.4/4.8	4.8	4.8
			7°-最大地上高	m —	—	14/16	17
		適用号機		IPA33001～	IPA35001～	IPA26001～ IPF11001～	IPA66001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	28.6	24.5	24.5
		弁シリンダ油圧	MPa	12.2	10.7	12.2	12.2
		かくはんモータ油圧	MPa	15.3	15.3	15.3	15.3
		ブーム油圧	MPa	—	—	25.5	25.5
		ACC ガス封入圧力	MPa	6.6	6.6	6.6	6.6
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	176+50	245+50
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付け	N・m	—	—	176+50	245+50
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	—	—
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	—	—	100±10	110±10
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(360)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項				エンジン駆動 電動機駆動切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き	号機により ブーム長さが異なる	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPF90B-4N21 IPF90B-5N21	IPF110B-7E21	IPF110B-8E21	IPF100B-8E26/4	IPF100B-6N27	IPF100B-6N29	IPG90T-12E	IPG115B-8E26/4
滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	滑り弁	揺動弁	揺動弁
90	100/64	100/64	100/64	100	100	90/50	115/74
4.8	8.4/5.4	8.4/5.4	8.4/5.4	6.2	6.2	12.2/6.8	7.3/4.7
21	21	21	26	27	29	—	26
IPA40001～ IPA42001～	IP97001～	IPA55001～	IPF12001～	IP98001～ IPA37001～	IPA59001～	IPG11001～	IPA69001～
検 査 基 準 値							
28.6	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	32.7	32.1
10.7	10.7	10.7	14.3	10.7	17.9	14.3/17.9	14.3
15.3	15.3	15.3	15.3	15.3/16.3	16.3	15.3	15.3
32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	32.1	—	28.6
6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	6.6	9.2	6.6
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
186+50	186+50	186+50	353+50	353+50	353+50	—	353+50
265+50	265+50	265+50	353+50	353+50	353+50	—	353+50
—	—	—	—	—	—	—	—
120±10	120±10	120±10	120±10	165±10	165±10	—	120±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(—)	(360)
(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
	吐出圧力 高低圧切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き	号機によりピストンストロークが異なる		吐出圧力 高低圧切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	115	115/74	115/74
			最大吐出圧力	MPa	5.4	7.3/4.7	7.3/4.7
			7°最大地上高	m	29	29	30
		適用号機		IPA75001～	IPA76001～	IPG20001～	IPG19001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数 ロータ回転数	回/min 回/min	35±1 —	35/22±1 —	35/22±1 —	32±1 —
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10	36±2 15±10
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (4) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (5) シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	75±10	75±10	75±10	75±10
		ブーム (1) 縮み	sec	75±10	75±10	75±10	75±10
		ブーム (2) 伸び	sec	80±10	80±10	80±10	120±10
		ブーム (2) 縮み	sec	80±10	80±10	80±10	120±10
		ブーム (3) 伸び	sec	70±10	70±10	70±10	120±10
		ブーム (3) 縮み	sec	70±10	70±10	70±10	120±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	45±10
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	45±10
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	4.1	4.1
	空圧機	水圧 飛距離	MPa m	4.1 —	4.1 —	—	—
		吐出圧力	MPa	0.7(オプション)	0.7(オプション)	0.7(オプション)	0.7(オプション)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPG135B-6N36/4	IPJ70B-4N18	IPJ115B-6N30	IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16	IPH40B-2N16
揺動弁	揺動弁	揺動弁	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
135	70	115	20	30	30	30	40/28
6.4	4.3	6.5	1	1	2.0	2	2.0/1.3
36	18	30	13	14	15	16	16
IPG18001~	IPG15001~ IPG15501~	IPG14001~	IPA11001~	IPA13001~	IPA45001~ IPA81001~	IPB11001~	IPB11501~
検 査 基 準 値							
28±1 —	34±1 —	35±1 —	— 36±1	— 36±1	— 36±1	— 33±1	— 33/22±1
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(1300) (—) (50 ± 5)	(1300) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)
36±2 15±10	25/18±2 —	36±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10	25±2 15±10
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(1300) (—) (50 ± 5)	(1300) (—) (50 ± 5)	(1600) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)	(1800) (—) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
75±10 75±10	50±10 50±10	75±10 75±10	40±10 45±10	40±10 45±10	40±10 45±10	40±10 45±10	40±10 45±10
120±10 120±10	40±10 75±10	80±10 80±10	50±10 55±10	50±10 55±10	50±10 55±10	50±10 55±10	50±10 55±10
120±10 120±10	40±10 55±10	70±10 70±10	45±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10	45±10 55±10
45±10 45±10	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(2000) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1300) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1300) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1600) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 3]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 3]
4.1	0.3(電動ポンプ)	4.1	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)
0.7(オフ・ション)	0.7(オフ・ション)	0.7	—	—	—	—	—
(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(2000) (—) (50 ± 5)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		IPG115B-6N29	IPG115B-8E29	IPG115B-7E30	IPG125B-6N33/4
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	115	115/74	115/74
			最大吐出圧力	MPa	5.4	7.3/4.7	7.3/4.7
			ブーム最大地上高	m	29	29	30
		適用号機		IPA75001～	IPA76001～	IPG20001～	IPG19001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	32.1	32.1	32.1	32.1
		弁シリンダ油圧	MPa	14.3	14.3	14.3	14.3
		かくはんモータ油圧	MPa	15.3	15.3	11.2	15.3
		ブーム油圧	MPa	28.6	28.6	32.1	32.1
		ACC ガス封入圧力	MPa	6.6	6.6	6.6	6.6
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車体・安全装置	☆旋回 装置	旋回台取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	353+50	353+50	353+50	435+50
		旋回ベアリング取付け ボルトの締め付けトルク	N・m	353+50	353+50	353+50	435+50
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	—	—
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	165±10	165±10	165±10	200±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	1
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]
特記事項					吐出圧力 高低圧切替機能付き	吐出圧力 高低圧切替機能付き	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IPG135B-6N36/4	IPJ70B-4N18	IPJ115B-6N30	IPH20B-1N13	IPH30B-1N14	IPH30B-2N15	IPH30B-2N16	IPH40B-2N16
揺動弁	揺動弁	揺動弁	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
135	70	115	20	30	30	30	40/28
6.4	4.3	6.5	1	1	2.0	2	2.0/1.3
36	18	30	13	14	15	16	16
IPG18001～	IPG15001～ IPG15501～	IPG14001～	IPA11001～	IPA13001～	IPA45001～ IPA81001～	IPB11001～	IPB11501～
検 査 基 準 値							
32.1	28.6	28.6	20.4	20.4	18.9	21.4	21.4
14.3	12.2	14.3	—	—	—	—	—
15.3	11.2	15.3	7.1	8.7	8.7	11.2	11.2
32.1	28.6	32.1	16.3	16.3	20.4	21.4	21.4
6.6	6.6	6.6	—	—	—	—	—
(2000)	(2000)	(2000)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	(1800)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
435+50	245+50	353+50	245+50	176+50	176+50	159+50	159+50
435+50	686+50	353+50	245+50	176+50	176+50	159+50	159+50
—	—	—	—	—	—	—	—
200±10	150±10	165±10	80±10	80±10	110±10	90±10	90±10
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)
(2000)	(2000)	(2000)	(1300)	(1300)	(1600)	(1800)	(1800)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
1	1	1	1	1	1	1	1
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
							ロータ回転数 2段切替機能 つき

石川島建機

適用範囲		モデル名		IPH50B-2N16	IPH55B-2N16		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	
			最大吐出量	m ³ /h	50	55	
			最大吐出圧力	MPa	2	2.0	
			ブーム最大地上高	m	16	16	
		適用号機		IPA36001～	IPA52001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値		
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	
			ロータ回転数	回/min	36±1	36±1	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1600)	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
		かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	25±2	25±2	
			チェーンのたわみ	mm	15±10	15±10	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1600)	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa	(min)	(—)	(—)	
			圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	(—)	(—)	
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	
			mm	—	—	—	
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	
			ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	
			ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	
			ブーム (4) シリンダ	mm	1	1	
			ブーム (5) シリンダ	mm	1	1	
		(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min)	[図面 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	
			[図面 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	
			[図面 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	40±10	40±10	
			縮み	sec	45±10	45±10	
			ブーム (2) 伸び	sec	50±10	50±10	
			縮み	sec	55±10	55±10	
			ブーム (3) 伸び	sec	45±10	45±10	
			縮み	sec	55±10	55±10	
			ブーム (4) 伸び	sec	—	—	
			縮み	sec	—	—	
			ブーム (5) 伸び	sec	—	—	
			縮み	sec	—	—	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1600)	
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	
			(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 水压 飛距離	MPa MPa m	0.2(電動ポンプ)	0.2(電動ポンプ)	
		吐出圧力	MPa	—	—	—	
	空圧機	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	

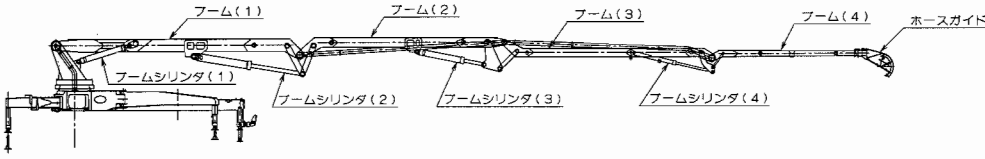
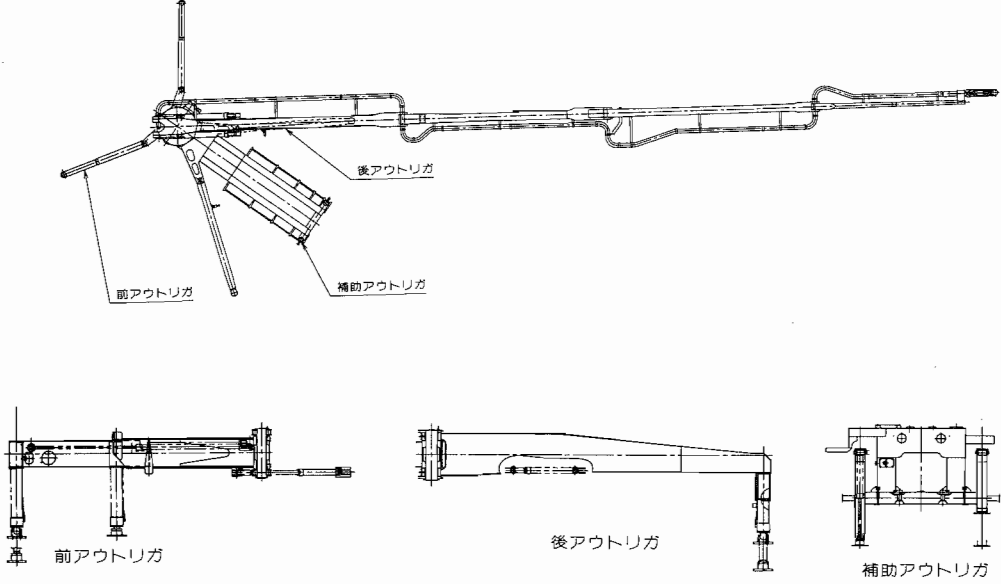
☆印：新車基準値を表す（参考値）。

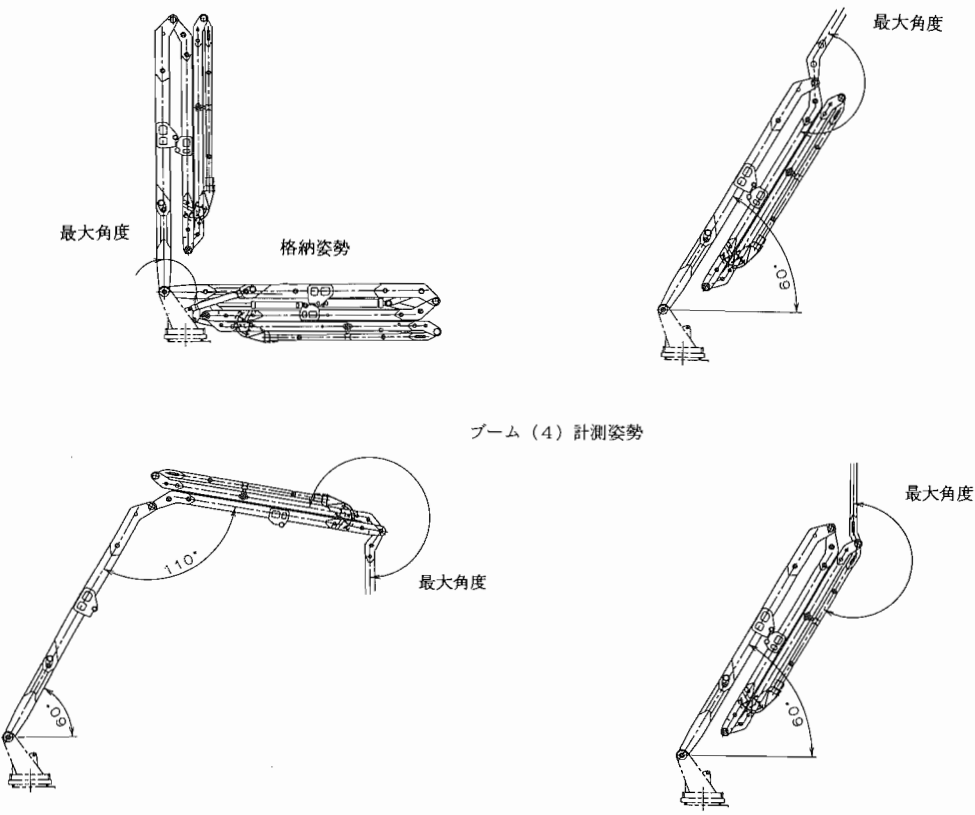
適用範囲		モデル名		IPH50B-2N16	IPH55B-2N16		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	
			最大吐出量	m ³ /h	50	55	
			最大吐出圧力	MPa	2	2.0	
			ブーム最大地上高	m	16	16	
		適用号機		IPA36001～	IPA52001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	21.4	21.4		
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—		
		かくはんモータ油圧	MPa	8.2	8.2		
		ブーム油圧	MPa	25.5	25.5		
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1600)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	176+50	176+50		
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	176+50	176+50		
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—		
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	80±10	80±10		
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1600)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)		
	☆シリンダ自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	1	1		
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面 No.]	(10) [図 No. 2]	(10) [図 No. 2]		
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

検 査 基 準 値							

石川島建機

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	アウトリガを最大に張り出し、ブームを真っ直ぐに伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。 ブーム先端は根元ホースのみとする。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 (下図参照) 
アウトリガシリンダ 自然降下	ブームを水平に伸ばし、アウトリガ真上位置に置く。アウトリガにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダ自然降下計測姿勢 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	アウトリガを最大に張り出し、各ブームシリンダの全ストロークを作動時間をストップウォッチで計測する。計測姿勢は右記の通り。	図-3 ブーム作動速度計測姿勢 (下図参照) 
旋回作動速度	アウトリガを最大に張り出し、右記のブーム姿勢にて360°旋回の作動時間をストップウォッチで計測する。	図-4 旋回作動速度計測姿勢 

岩 田 商 会

適 用 範 囲		モ デ ル 名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40B II
		主仕様	吸 吐 弁 型 式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最 大 吐 出 量	m ³ /h	40	55	40
			最 大 吐 出 圧 力	MPa	2.16	2.16	2.16
			ブーム最大地上高	m	—	—	12
		適 用 号 機					
区 分	検 査 箇 所	検 査 項 目 (条件)	単 位	検 査 基 準 値			
作 業 装 置	圧 送 装 置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	40	40	40	40
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回 転 速 度	min ⁻¹	36±2	36±2	36±2	36±2
		チェーンのたわみ	mm	15	15	15	15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真 空 ポ ンプ	圧 力 設 定 値 (設定値到達時間)	kPa (min)	67.8 (10)	67.8 (10)	67.8 (10)	67.8 (10)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)	5.7 (10)
		Vベルトのたわみ	mm	15~20	—	—	—
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (2) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (3) シリンダ	mm	—	—	3	3
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測 定 時 間)	(min)	(—)	(—)	(10)	(10)
		(作動計測条件)		[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸 び	sec	—	—	32±5	32±5
		ブーム (1) 縮 み	sec	—	—	38±5	38±5
		ブーム (2) 伸 び	sec	—	—	25±5	25±5
		ブーム (2) 縮 み	sec	—	—	28±5	28±5
		ブーム (3) 伸 び	sec	—	—	35±5	35±5
		ブーム (3) 縮 み	sec	—	—	40±5	40±5
		ブーム (4) 伸 び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮 み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸 び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮 み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)
		(作動油温度)	(°C)	[—]	[—]	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
洗 浄 装 置	水 ポ ンプ (配管洗浄用)	吐 出 圧 力	MPa	—	—	—	—
		油 圧 水 圧 飛距離	MPa m	0.17 5	0.17 5	0.17 5	0.17 5
	空 圧 機	吐 出 圧 力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

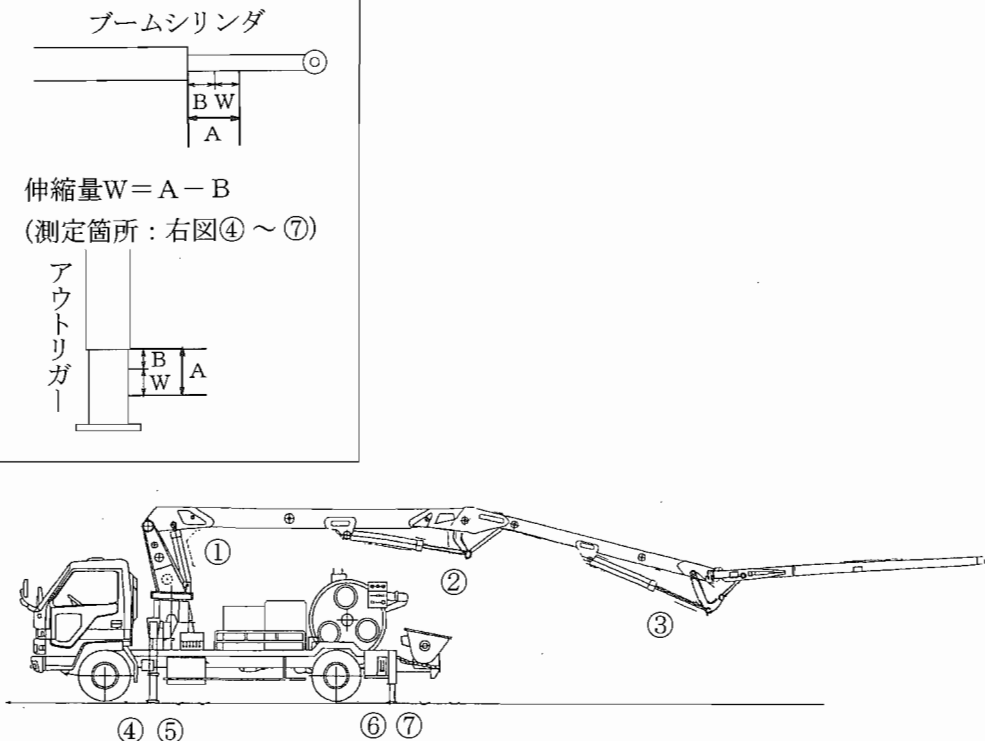
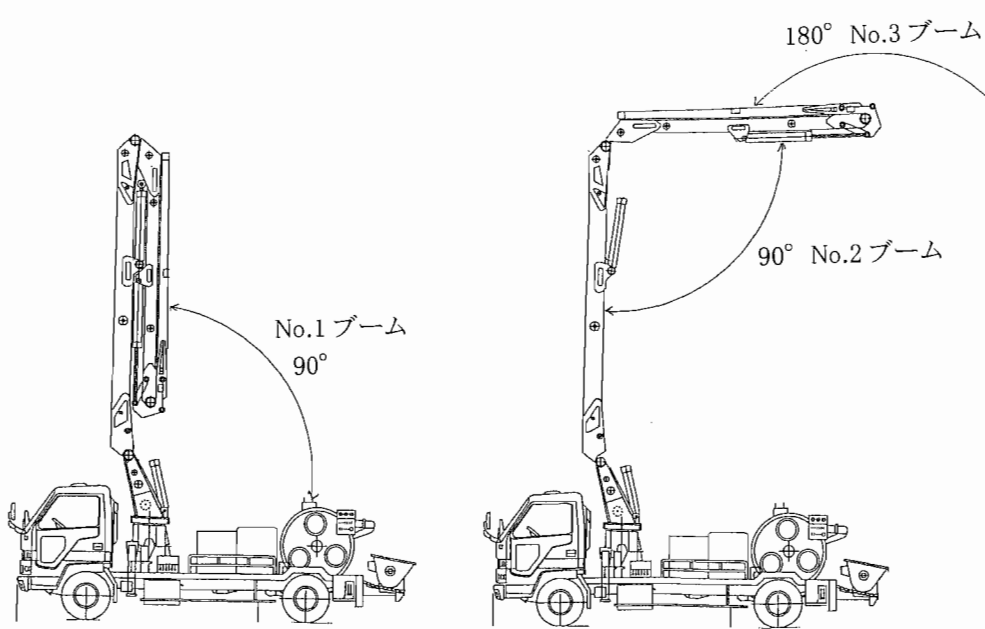
IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-55BⅡ	IC-60B-18L
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
50	50	45	55	55	55	55	60
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	16	18
検 査 基 準 値							
— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40	— 40
(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)
36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15	36±2 15
(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)	(2300) (—) (50 ± 5)
67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)	67.8 (10) 5.7 (10)
15 ~ 20	—	—	—	—	—	—	—
3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —	3 3 3 — —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5	32±5 38±5
25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5	25±5 28±5
35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5	35±5 40±5
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1500) (50 ± 5) [図 No. 2]
— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5	— 0.17 5
—	—	—	—	—	—	—	—
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		IC-40H	IC-55H	IC-40B	IC-40B II
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	40	55	40
			最大吐出圧力	MPa	2.16	2.16	2.16
			ブーム最大地上高	m	—	—	12
		適用号機					
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	8.8±0.5	8.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5
		ブーム油圧	MPa	20.6±0.5	20.5±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルトの 締め付け	旋回台取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	—	—	626(φ22)	626(φ22)
		旋回ベアリング取付け ボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	569(φ20) 226(φ16)	569(φ20)
		旋回ボルトの交換周期	年	—	—	3	3
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	—	—	30±5	30±5
		(旋回作動角度)	(度)	(—)	(—)	(90)	(90)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(1500)	(1500)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	アウトリガー シリンダ 自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	—	—	2	2
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(—) [図 No.]	(—) [図 No.]	(10) [図 No. 1]	(10) [図 No. 1]
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

IC-50B-12L	IC-50B-14L	IC-45B	IC-55B	IC-55B-15L	IC-55B-17L	IC-55B II	IC-60B-18L
スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ	スクイズ
50	50	45	55	55	55	55	60
2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16	2.16
12	14	14.5	14.5	15.5	17	16	18
検 査 基 準 値							
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5	80.8±0.5
20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5	20.6±0.5
—	—	—	—	—	—	—	—
(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)	(2300)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	626 (φ 22)	512 (φ 18)	626 (φ 22)	512 (φ 18) 683 (φ 24)
569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20)	569 (φ 20) 226 (φ 16)	569 (φ 20)
3	3	3	3	3	3	3	3
30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5	30±5
(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)
(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)
(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
2	2	2	2	2	2	2	2
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]

岩 田 商 会

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下量	降下量 $W=A-B$ (測定箇所：右図①～③)	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 及びアウトリガ自然伸縮計測姿勢
アウトリガ 自然伸縮量	伸縮量 $W=A-B$ (測定箇所：右図④～⑦)	
		
ブームシリンダ 作動時間	図-2 ブーム作動速度計測姿勢	
		

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PY21-51	PY21-51A	PY21-10	PY21-60
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h 100 (70)	100 (70)	100 (70)	100 (70)
			最大吐出圧力	MPa 5.4 (7.8)	5.4 (7.8)	5.4 (7.8)	5.4 (7.8)
		適用号機		83P000001～84P	84P000001～94P	84P010001～96P	84P020001～85P
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	32±2	32±2	25±2	32±2
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200±50)	(2200±50)	(1800±50)	(1500±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937±50)	(1937±50)	(2192±50)	(1540±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	38±3	38±3	31±3	26±3
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200±50)	(2200±50)	(1800±50)	(1500±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937±50)	(1937±50)	(2192±50)	(1540±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	—	0.5以下
		ブーム (2) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	—	0.5以下
		ブーム (3) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	—	0.5以下
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(—)	(10)
		(作動計測条件)		(—)	(—)	(—)	(—)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]
		ブーム (1) 伸び	sec	60±10	60±10	—	85±10
		ブーム (1) 縮み	sec	65±10	65±10	—	60±10
		ブーム (2) 伸び	sec	85±10	85±10	—	170±10
		ブーム (2) 縮み	sec	85±10	85±10	—	185±10
	☆ブームシリンダ作動時間	ブーム (3) 伸び	sec	50±10	50±10	—	105±10
		ブーム (3) 縮み	sec	65±10	65±10	—	120±10
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	12.3±1	20.6±1	12.3±1	20.6±1
		油圧水圧	MPa	—	—	—	—
		飛距離	m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200±50)	(2200±50)	(1800±50)	(1500±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937±50)	(1937±50)	(2192±50)	(1540±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

[1/4]

PY21-60A	PY60-14/18	PY110-25	PT80-10	PY115-31	PY115-26	PY115-31A	PY120-36
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
100 (70)	60	110 (75)	80	115	115	115	120
5.4 (7.8)	4.7	4.4 (6.4)	11.8 (超高压車)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)
29	14.3	25	<フーム無し>	30.7	25.7	31	36
85P000001~ 85P	89P000001~ 97P	89P010001~ 95P	92P000001~	92P010001~ 95P	95P000001~	96P000001~	96P010001~
検 査 基 準 値							
32±2 —	36±2 —	32±2 —	50±5 —	34±2 —	34±2 —	32±2 —	26±2 —
(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) (2172±50) (50±10)	(2200±50) 〔日野日産1937± 50 いすゞ三菱 2172±50 (50±10)〕	(1800-50) (1670-50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)
26±3 —	31±3 —	38±3 —	31±3 —	38±3 —	38±3 —	38±2 —	38±2 —
(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) (2172±50) (50±10)	(2200±50) 〔日野日産1937± 50 いすゞ三菱 2172±50 (50±10)〕	(1800-50) (1670-50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	— — — — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —
(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(—) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]
85±10 60±10	35±10 30±10	85±10 80±10	— —	105±10 80±10	65±10 75±10	105±10 80±10	125±10 90±10
170±10 185±10	40±10 40±10	100±10 125±10	— —	95±10 80±10	75±10 70±10	80±10 95±10	150±10 120±10
105±10 120±10	55±10 60±10	105±10 150±10	— —	90±10 115±10	50±10 90±10	90±10 115±10	115±10 200±10
— —	— —	60±10 85±10	— —	65±10 90±10	30±10 40±10	65±10 90±10	50±10 85±10
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1600) (50±10) [図 No. —]	(1600) (50±10) [図 No. —]	(1600) (50±10) [図 No. —]	(—) (—) [図 No. —]	(1500) (50±10) [図 No. —]	(1800) (50±10) [図 No. —]	(1800) (50±10) [図 No. —]	(1800) (50±10) [図 No. —]
20.6±1 — —	20.6±1 — —	20.6±1 — —	23.5±1 — —	20.6±1 — —	27.5±1 — —	27.5±1 — —	27.5±1 — —
—	—	—	—	—	—	—	—
(1500±50) (1540±50) (50±10)	(2200±50) (2172±50) (50±10)	(2200±50) 〔日野日産1937± 50 いすゞ三菱 2172±50 (50±10)〕	(1800-50) (1670-50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1777±50) (50±10)	(1800±50) (1585±50) (50±10)	(1800±50) (1489±50) (50±10)

適用範囲		モデル名		PY21-51	PY21-51A	PY21-10	PY21-60
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	100 (70)	100 (70)	100 (70)
			最大吐出圧力	MPa	5.4 (7.8)	5.4 (7.8)	5.4 (7.8)
		7°-A最大地上高		m	21.4	21.4	<7°-A無し>
		適用号機		83P000001~84P	84P000001~94P	84P010001~96P	84P020001~85P
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	20.6±1	—	27.4±1
		ACC ガス封入圧力	MPa	7.8±1	7.8±1	7.8±1	7.8±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2200±50)	(2200±50)	(1800±50)	(1500±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1937±50)	(1937±50)	(2192±50)	(1540±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	294±9.8	—	765±9.8
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	294±9.8	—	765±9.8
		旋回ボルトの交換周期	年	<脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。>			
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	110±10	110±10	—	205±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(—)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1600)	(—)	(1500)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1409)	(1409)	(—)	(1540)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)
	アウトリガ	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	—	0.5以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(—) [図 No. —]	(10) [図 No. —]
特記事項			1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 3) 標準圧送システムの場合について示す。 4) 自動給油は給油されていることを確認する。				1) キャブ上、誤作動防止装置の作動確認すること。 2) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 3) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 4) 標準圧送システムの場合について示す。 5) 自動給油は給油されていることを確認すること。

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PY21-60A	PY60-14/18	PY110-25	PT80-10	PY115-31	PY115-26	PY115-31A	PY120-36
スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング	スイング
100 (70)	60	110 (75)	80	115	115	115	120
5.4 (7.8)	4.7	4.4 (6.4)	11.8 (超高压車)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)	4.4 (6.4)
29 85P000001~ 85P	14.3 89P000001~ 97P	25 89P010001~ 95P	<ブーム無し> 92P000001~	30.7 92P010001~ 95P	25.7 95P000001~	31 96P000001~	36 96P010001~
検 査 基 準 値							
27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
27.5±1	20.6±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	13.7±1	14.7±1	13.7±1	13.7±1
27.4±1	20.6±1	28.4±1	—	28.4±1	27.5±1	28.4±1	28.4±1
7.8±1	6.2±0.3	7.8±1	7.8±1	7.8±1	—	—	—
(1500±50)	(2200±50)	(2200±50) 〔日野日産 1937±50 いすゞ三菱 2172±50〕 (50±10)	(1800-50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)
(1540±50)	(2172±50)		(1670-50)	(1585±50)	(1777±50)	(1585±50)	(1489±50)
(50±10)	(50±10)		(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
765±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	294±9.8	—	—
765±9.8	294±9.8	294±9.8	—	—	294±9.8	—	—
<脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。> ← ← ← ←							
205±10	85±10	155±10	—	120±10	155±10	120±10	150±10
(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(—)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(370・限定旋回)
(1600)	(1600)	(1600)	(—)	(1500)	(1800)	(1800)	(1800)
(1643)	(1580)	〔日野日産1937〕 〔いすゞ三菱2172〕	(—)	(1320)	(1777)	(1585)	(1489)
(50±10)	(50±10)	(50±10)	(—)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
(10)	(10)	(10)	(—)	(10)	(10)	(10)	(10)
[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]
同 左	1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 3) 標準圧送システムの場合について示す。 4) 自動給油は給油されていることを確認すること。			1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 3) 標準圧送システムの場合について示す。 4) 自動給油は給油されていることを確認すること。			

適用範囲		モデル名		PY120-33	PY75-16	PY75-18	PT70-10	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	120	75	75	70
			最大吐出圧力	MPa	4.4 (6.4)	3.2 (4.9)	3.2 (4.9)	3.2 (4.9)
			7°-m最大地上高	m	33	16	18	<7°-m無し>
適用号機				97P000001～	97P010001～	97P020001～	98P010001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	32±2	37±2	37±2	22±2
			ロータ回転数	回/min	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(1700±50)	(1700±50)	(2200±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1585±50)	(2070±50)	(2070±50)	(1777±50)
	かくはん装置		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			回転速度	min ⁻¹	38±2	27±2	27±2	22±2
			チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(1700±50)	(1700±50)	(2200±50)
	真空ポンプ		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1585±50)	(2070±50)	(2070±50)	(1777±50)
			(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
			圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	シリンドラ 自然降下量		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
			ブーム (1) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	—
			ブーム (2) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	—
			ブーム (3) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	—
	ブーム装置	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
(測定時間)			(min)	(10)	(10)	(10)	(—)	
(作動計測条件)				(—)	(—)	(—)	(—)	
(作業装置姿勢)			[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	
ブーム (1) 伸び			sec	105±10	65±10	40±10	—	
☆ブームシリンダ 作動時間		ブーム (1) 縮み	sec	90±10	65±10	65±10	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	115±10	55±10	35±10	—	
		ブーム (2) 縮み	sec	100±10	65±10	65±10	—	
		ブーム (3) 伸び	sec	100±10	65±10	30±10	—	
		ブーム (3) 縮み	sec	180±10	85±10	55±10	—	
		ブーム (4) 伸び	sec	35±10	—	—	—	
☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (4) 縮み	sec	70±10	—	—	—		
	ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—		
	ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—		
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(700)	(1700)	(—)		
	(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(—)		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1	
		油圧	MPa	—	—	—	—	
		水圧	MPa	—	—	—	—	
	空圧機	飛距離	m	—	—	—	—	
		吐出圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(1700±50)	(1700)	(2200)	
洗浄装置		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1585±50)	(2070±50)	(2070)	(1777)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	

—26—

[illegible]

適用範囲		モデル名		PY120-33	PY75-16	PY75-18	PT70-10
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイング	スイング	スイング
			最大吐出量	m ³ /h	120	75	75
			最大吐出圧力	MPa	4.4 (6.4)	3.2 (4.9)	3.2 (4.9)
			フレーム最大地上高	m	33	16	18
		適用号機		97P000001～	97P010001～	97P020001～	98P010001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		弁シリンダ油圧	MPa	27.5±1	27.5±1	27.5±1	27.5±1
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7±1	10.8±1	10.8±1	13.7±1
		ブーム油圧	MPa	28.4±1	27.4±1	27.4±1	—
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800±50)	(1700±50)	(1700)	(2200)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1585±50)	(2070±50)	(2070)	(1777)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	294±9.8	294±9.8	—
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	294±9.8	294±9.8	—
		旋回ボルトの交換周期	年	<脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。>			
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	205±10	75±10	75±10	—
		(旋回作動角度)	(度)	(370・限定旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(—)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1800)	(1700)	(1700)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1585)	(2070)	(2070)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(—)
	☆アウトリガ	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]
特記事項						1) 油圧ポンプは斜板を最大吐出量の状態にすること。 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。 3) 標準圧送システムの場合について示す。 4) 自動給油は給油されていることを確認する。	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

検 査 基 準 値							

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH10-50, 50A	PH11-50	PH14-52, PQ14-10/11/11A	PH14-60
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h 30	55	70	80
			最大吐出圧力	MPa 1.8	2	2.5	2.5
			アーム最大地上高	m 11	16	21.4	29
		適用号機		84P000001～90P	85P000001～	81P000001～	85P010001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	30±1	40±1	25±1	28±1
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(1900±50)	(2200±50)	(2200±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ2380±50 三菱2000±50	(1850±50)	(1930±50)	(1930±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		回転速度	min ⁻¹	26±3	28±3	36±3	41±3
	かくはん装置	チェーンのたわみ	mm	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央	20・チェーン中央
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2000±50)	(1900±50)	(2200±50)	(2200±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	いすゞ2380±50 三菱2000±50	(1850±50)	(1930±50)	(1930±50)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)
	真空ポンプ	Vベルトのたわみ	mm	15～20・ ベルト中央	15～20・ ベルト中央	5～10・ ベルト中央	5～10・ ベルト中央
		シリンダ 自然降下量	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		ブーム(1) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		ブーム(2) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		ブーム(3) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		ブーム(4) シリンダ	mm	—	—	—	—
作業装置	ブーム	ブーム(5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動計測条件)		(—)	(—)	(—)	(—)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム(1) 伸び	sec	35±10	35±10	60±10	85±10
		ブーム(1) 縮み	sec	35±10	30±10	65±10	60±10
		ブーム(2) 伸び	sec	35±10	40±10	85±10	170±10
		ブーム(2) 縮み	sec	30±10	35±10	85±10	185±10
		ブーム(3) 伸び	sec	15±10	50±10	50±10	105±10
		ブーム(3) 縮み	sec	20±10	60±10	65±10	120±10
		ブーム(4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム(4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム(5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム(5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1660)	(1600)	(1600)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]	[図 No. —]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		油圧	MPa	1.8	2.0	2.5	2.5
		飛距離	m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH20-11/-11A	PH30-11	PH40-14	PH50-14	PH65-18	PH75-25	PQ10-10	PH45-14
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
20	30	40	50	65	75	40	47
1.2	1.8	1.8	2.0	1.8	2.5	1.8	2.5
11	11	14	14	18	24.2	<ブーム無し>	14
87P00001~	90P000001~	90P010001~	90P020001~	91P000001~	89P000001~	81P000001~	97P000001~
検 査 基 準 値							
— 25±1	— 30±1	— 40±1	— 36±1	— 35±1	— 26±1	— 40±1	— 36±1
(1500±50) [いすゞ1780±50] [三菱1500±50] (50±10)	(1750±50) [いすゞ2080±50] [三菱1500±50] (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(1800±50) (1820±50) (50±10)	(1700±50) (1490±50) (50±10)	(2000±50) [いすゞ2380±50] [三菱2000±50] (50±10)	(2000±50) [いすゞ2380±50] [三菱2000±50] (50±10)
18±3 20・チェン中央	22±3 20・チェン中央	21±3 20・チェン中央	25±3 20・チェン中央	21±3 20・チェン中央	31±3 20・チェン中央	29±3 20・チェン中央	24±3 20・チェン中央
(1500±50) [いすゞ1780±50] [三菱1500±50] (50±10)	(1750±50) [いすゞ2080±50] [三菱1500±50] (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(1800±50) (1820±50) (50±10)	(1700±50) (1490±50) (50±10)	(2000±50) [いすゞ2380±50] [三菱2000±50] (50±10)	(2000±50) [いすゞ2380±50] [三菱2000±50] (50±10)
0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)
0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)	0.005M (1時間)
20・ ベルト中央	15~20・ ベルト中央	15~20・ ベルト中央	15~20・ ベルト中央	<電動機駆動>	5~10・ ベルト中央	20・ ベルト中央	<電動機駆動>
0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	— — — — —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 — —
(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(—) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]
35±10 35±10	35±10 35±10	40±10 35±10	38±10 30±10	45±10 60±10	85±10 80±10	— —	52±10 60±10
55±10 70±10	40±10 35±10	35±10 35±10	40±10 40±10	45±10 65±10	100±10 125±10	— —	45±10 55±10
— —	20±10 20±10	50±10 55±10	50±10 55±10	30±10 50±10	105±10 150±10	— —	32±10 45±10
— —	— —	— —	— —	— —	60±10 85±10	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1500) (50±10) [図 No. —]	(1460) (50±10) [図 No. —]	(1530) (50±10) [図 No. —]	(1770) (50±10) [図 No. —]	(1800) (50±10) [図 No. —]	(1600) (50±10) [図 No. —]	(—) (—) [図 No. —]	(2000) (50±10) [図 No. —]
— 1.2 —	— 1.8 —	— 1.8 —	— 2.0 —	— 1.8 —	— 2.5 —	— 1.8 —	— — —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		PH10-50, 50A	PH11-50	PH14-52, PQ14-10/11/11A	PH14-60	
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	30	55	70	80
			最大吐出圧力	MPa	1.8	2	2.5	2.5
			ブーム最大地上高	m	11	16	21.4	29
		適用号機		84P000001～90P	85P000001～	81P000001～	85P010001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	20.6±1	21.1±1	27.4±1	27.4±1	
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—	
		かくはんモータ油圧	MPa	8.8±1	7.4±1	6.9±1	6.9±1	
		ブーム油圧	MPa	20.6±1	20.6±1	20.6±1	27.4±1	
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2000±50) 〔いすゞ2380±50 三菱2000±50〕 (50±10)	(1900±50) (1850±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	(2200±50) (1930±50) (50±10)	
車体・安全装置	☆旋回装置	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	167±9.8	294±9.8	294±9.8	765±9.8	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	167±9.8	294±9.8	294±9.8	765±9.8	
		旋回ボルトの交換周期	年	＜脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。＞				
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	90±10	125±10	110±10	205±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回) (1650)	(360・全旋回) (1660)	(360・全旋回) (1600)	(360・全旋回) (1600)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	〔いすゞ2380 三菱2000〕 (50±10)	(1630)	(1400)	(1400)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)					
		(作動油温度)	(℃)		(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	(10) [図 No. —]	
特記事項				1) ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、オペレータに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。			1) キャブ上、誤動作防止装置の点検。(PQ14-60) 2) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。	

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH20-11/-11A	PH30-11	PH40-14	PH50-14	PH65-18	PH75-25	PQ10-10	PH45-14
スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
20	30	40	50	65	75	40	47
1.2	1.8	1.8	2.0	1.8	2.5	1.8	2.5
11	11	14	14	18	24.2	＜ブーム無し＞	14
87P00001～	90P000001～	90P010001～	90P020001～	91P000001～	89P000001～	81P000001～	97P000001～
検 査 基 準 値							
13.7±1	17.4±1	19.6±1	21.1±1	25.5±1	27.4±1	17.2±1	25.0±1
—	—	—	—	—	—	—	—
7.4±1	7.4±1	7.4±1	7.4±1	6.9±1	8.8±1	6.9±1	8.0±1
17.2±1	20.6±1	20.6±1	20.6±1	27.4±1	28.4±1	—	27.1±1
—	—	—	—	—	—	—	—
(1500±50) 〔いすゞ1780±50〕 〔三菱1500±50〕 (50±10)	(1750±50) 〔いすゞ2080±50〕 〔三菱1500±50〕 (50±10)	(1750±50) (1700±50) (50±10)	(1990±50) (1940±50) (50±10)	(1800±50) (1820±50) (50±10)	(1700±50) (1490±50) (50±10)	(2000±50) 〔いすゞ2380±50〕 〔三菱2000±50〕 (50±10)	(2000±50) 〔いすゞ2380±50〕 〔三菱2000±50〕 (50±10)
167±9.8	167±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	325.6±9.8
167±9.8	167±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	294±9.8	—	325.6±9.8
＜脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。＞ ← ← ← ←							
100±10	100±10	140±10	100±10	100±10	155±10	—	75±10
(360・全旋回) (1500) 〔いすゞ1780〕 〔三菱1500〕 (50±10)	(360・全旋回) (1460) 〔いすゞ1740〕 〔三菱1460〕 (50±10)	(360・全旋回) (1530) (1490) (50±10)	(360・全旋回) (1770) (1720) (50±10)	(360・全旋回) (1800) (1820) (50±10)	(360・全旋回) (1600) (1400) (50±10)	(—) (—) (—) (50±10)	(360・全旋回) (2000) 〔いすゞ2380±50〕 〔三菱2000±50〕 (50±10)
0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下	—	0.5以下
(10) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕	(—) 〔図 No. ー〕	(10) 〔図 No. ー〕
同 左	1) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。			1) パネルの非常停止ボタンの作動確認。(PH65-18) 2) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。		1) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 2) 低圧時はミッション4速、高圧時は3速にする。(PQ10-10)	

極東開発工業

適用範囲		モデル名		PH80-26/-26A	PH65-19	PH50-16	PH40-16		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	スクィーズ	
			最大吐出量	m ³ /h	80	65	50	40	
			最大吐出圧力	MPa	2.5	2.0	2.5	1.8	
			フォーム最大地上高	m	26	19	16	16	
		適用号機		96P000001～	99P000001～99P	99P020001～99P	99P030001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—	
			ロータ回転数	回/min	28±1	35±1	40±1	44±1	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2100-50) (1840-50) (50±10)	(1530±50) (1860±50) (50±10)	(2160±30) 〔いすゞ2570±30〕 〔三菱 2160±30〕 (50±10)	(2050±30) (2000±30) (50±10)	
	かくはん装置		回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	40±3 20・チェーン中央	21±3 20・チェーン中央	23±3 20・チェーン中央	25±3 20・チェーン中央	
			(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(2100-50) (1840-50) (50±10)	(1530-50) (1860-50) (50±10)	(2160±30) 〔いすゞ2570±30〕 〔三菱 2160±30〕 (50±10)	(2050±30) (2000±30) (50±10)	
			真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)
	圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)		0.005M (1 時間)	0.005M (1 時間)	0.005M (1 時間)	0.005M (1 時間)		
	Vベルトのたわみ	mm		<電動モータ駆動>	<電動モータ駆動>	(電動モータ駆動)	(電動モータ駆動)		
	作業装置	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
				ブーム (2) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
				ブーム (3) シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		ブーム (4) シリンダ		mm	0.5以下	—	—	—	
		ブーム (5) シリンダ		mm	—	—	—	—	
(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)		(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]			
☆ブームシリンダ 作動時間		ブーム (1) 伸び	sec	45±10	55±10	55±10	35±10		
		縮み	sec	60±10	55±10	60±10	30±10		
		ブーム (2) 伸び	sec	60±10	65±10	45±10	40±10		
		縮み	sec	70±10	80±10	65±10	35±10		
		ブーム (3) 伸び	sec	45±10	45±10	40±10	50±10		
		縮み	sec	95±10	55±10	60±10	60±10		
	ブーム (4) 伸び	sec	25±5	—	—	—			
縮み	sec	40±5	—	—	—				
ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—				
縮み	sec	—	—	—	—				
(油圧ポンプ回転数) (作動油温度) (作業装置姿勢)	(min ⁻¹) (℃) [図面No.]	(2000) (50±10) [図 No. —]	(1530) (50±10) [図 No. —]	(2160) (50±10) [図 No. —]	(2050) (50±10) [図 No. —]				
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
		油圧 水圧 飛距離	MPa MPa m	— — —	— — —	— 2.5 —	— 1.8 —		
	空圧機	吐出圧力	MPa	—	—	—	—		
		(油圧ポンプ回転数) (エンジン回転数) (作動油温度)	(min ⁻¹) (min ⁻¹) (℃)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)		

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

PH50-17	PH65-19A						
スクイーズ	スクイーズ						
50	65						
2.5	2.0						
17	19						
99P040001～	99P050001～						
検 査 基 準 値							
— 40±3	— 35±1						
(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)	(1530±30) (1860±30) (50±10)						
23±3 20・チェン中央	21±3 20・チェン中央						
(2160±30) いすゞ2570±30 三 菱 2160±30 (50±10)	(1530±30) (1860±30) (50±10)						
0.083M (10分以内)	0.083M (10分以内)						
0.005M (1 時間)	0.005M (1 時間)						
(電動モータ駆動)	(電動モータ駆動)						
0.5以下 0.5以下 0.5以下 0.5以下 —	0.5以下 0.5以下 0.5以下 0.5以下 —						
(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]						
55±10 60±10	55±10 55±10						
45±10 65±10	65±10 80±10						
40±10 60±10	45±10 55±10						
20±5 30±5	20±5 30±5						
— —	— —						
(2160) (50±10) [図 No. —]	(1530) (50±10) [図 No. —]						
— 2.5 —	— 2.5 —						
—	—						
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)						

適用範囲		モデル名		PH80-26/-26A	PH65-19	PH50-16	PH40-16
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイーズ	スクイーズ	スクイーズ
			最大吐出量	m ³ /h	80	65	50
			最大吐出圧力	MPa	2.5	2.0	2.5
			7°-4最大地上高	m	26	19	16
		適用号機		96P000001～	99P000001～ 99P	99P020001～ 99P	99P030001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	28.0	26.0±1	24.5±1	21.1±1
		弁シリンダ油圧	MPa	—	—	—	—
		かくはんモータ油圧	MPa	11.0±1	8.0±1	8.0±1	8.0±1
		ブーム油圧	MPa	28.1±1	27.5±1	27.1±1	27.1±1
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100-50)	(1530-50)	(2160±30)	(2050±30)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1840-50)	(1860-50)	〔いすゞ2570±30〕 〔三菱2160±30〕	(2000±30)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	294±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8	325.6±9.8
		旋回ボルトの交換周期	年	<脱落又は切損が確認された場合は全数交換を原則とする。>			
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	160±5	75±10	75±10	75±10
		(旋回作動角度)	(度)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)	(360・全旋回)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2100)	(1530)	(2160)	(2050)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1840)	(1860)	〔いすゞ2570〕 〔三菱2160〕	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	(50±10)
	☆シリンダ自然伸縮量	各垂直シリンダ	mm	0.5以下	0.5以下	0.5以下	0.5以下
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]
特記事項				1) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 2) 低圧時はミッション4速、高圧時は3速にする。 (PQ10-10)			
				1) ポンプ圧力の測定は特殊治具を必要とし危険が伴うので、オペレータに異常の有無を確認して異常が無ければ省略する。 2) 可変式油圧ポンプの場合は斜板を最大に切り換えた状態とする。 3) シリンダ耐圧テスト時は先端荷重は無しとする。			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

PH50-17	PH65-19A						
スクイーズ	スクイーズ						
50	65						
2.5	2.0						
17	19						
99P040001～	99P050001～						
検 査 基 準 値							
24.5±1	21.6±1						
—	—						
8.0±1	8.0±1						
27.1±1	27.1±1						
—	—						
(2160±30) [いすゞ2570±30] [三菱 2160±30] (50±10)	(1530±30) (1860±30) (50±10)						
325.6±9.8	325.6±9.8						
325.6±9.8	325.6±9.8						
75±10	75±10						
(360・全旋回) (2160) [いすゞ 2570] [三菱 2160] (50±10)	(360・全旋回) (1530) (1860) (50±10)						
0.5以下	0.5以下						
(10) [図 No. 一]	(10) [図 No. 一]						
同 左							

シンテック

適用範囲		モデル名		MKW-35CB	MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35	55	55
			最大吐出圧力	MPa	40.9	42.6	42.6
			ブーム最大地上高	m	14	16	—
		適用号機		001～	001～	001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数 ロータ回転数	回/min 回/min	36±1 —	40±1 —	40±1 —	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	かくはん装置	回転速度 チェーンのたわみ	min ⁻¹ mm	38±1 10	39±1 10	39±1 10	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	—	
		ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	—	
		ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	—	
		ブーム (4) シリンダ	mm	1	1	—	
		ブーム (5) シリンダ	mm	1	1	—	
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	
		(作動計測条件)		[無負荷]	[無負荷]	[—]	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 5]	[図 No. 5]	[図 No. —]	
		ブーム (1) 伸び	sec	50±3	50±3	—	
		ブーム (1) 縮み	sec	60±3	60±3	—	
		ブーム (2) 伸び	sec	75±3	75±3	—	
		ブーム (2) 縮み	sec	85±3	85±3	—	
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (3) 伸び	sec	60±3	60±3	—	
		ブーム (3) 縮み	sec	55±3	55±3	—	
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2000±50)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(—)	
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1～3]	[図 No. 1～3]	[図 No. —]	
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	13.7	13.7	—	
			水压 MPa	4.26	4.26	—	
			飛距離 m	10	10	—	
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.98	0.98	0.98	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1950±50)	(2000±50)	(2000±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	

☆印：新車基準値を表す(参考値)。

[illegible]

適用範囲		モデル名		MKW-35CB	MKW-55CB	MKW-55CM	
		主仕様	吸吐弁型式	—	平行摺動	平行摺動	平行摺動
			最大吐出量	m ³ /h	35	55	55
			最大吐出圧力	MPa	40.9	42.6	42.6
			ブーム最大地上高	m	14	16	—
		適用号機		001～	001～	001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	24.5	24.5	24.5	
		弁シリンダ油圧	MPa	13.7	13.7	13.7	
		かくはんモータ油圧	MPa	13.7	13.7	13.7	
		ブーム油圧	MPa	20.6	20.6	20.6	
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)	(2000)	(2000)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(50±10)	
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	350	350	—	
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付け	N・m	350	350	—	
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	—	
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	40±5	40±5	—	
		(旋回作動角度)	(度)	(90)	(90)	(—)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1200)	(2000)	(—)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)	(—)	
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1	1	1	
		(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	(10) [図 No. 6]	
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

検 査 基 準 値							

大 一 ・ テ ク ノ

適用範囲		モデル名		35SL	30G	30KL	40G
		主仕様	吸吐弁型式	—	スクイズ	スクイズ	スクイズ
			最大吐出量	m ³ /h	35	30	30
			最大吐出圧力	MPa	1.6	1.5	1.5
			7°-m最大地上高	m	14	14.5	17
		適用号機		41001～	72001～	73001～	82001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	—	—	—	—
		ロータ回転数	回/min	34	30	30	37
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	60±5	60±5	60±5	60±5
		チェーンのたわみ	mm	15	15	15	15
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値	kPa	—	—	—	—
		(設定値到達時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		圧力降下許容値	kPa	—	—	—	—
		(保持時間)	(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
	ブーム装置	Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
		ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1	1
		ブーム (2) シリンダ	mm	1.5	1.5	1.5	1.5
		ブーム (3) シリンダ	mm	2.5	2.5	2.5	2.5
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動計測条件)	[縮み量]	[縮み量]	[縮み量]	[縮み量]	[縮み量]
		(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
		ブーム (1) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
	☆ブームシリンダ作動時間	ブーム (2) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (3) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		縮み	sec	—	—	—	—
	洗浄装置	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作業装置姿勢)	[図面 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]	[図 No.]
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

40KL	50KL						
スクイズ	スクイズ						
40	50						
1.6	1.6						
17	17						
83001～	90215～						
検 査 基 準 値							
— 37	— 38						
(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)						
60±5 15	60±5 15						
(—) (2000) (50 ± 5)	(—) (2000) (50 ± 5)						
— (—)	— (—)						
— (—)	— (—)						
—	—						
1 1.5 2.5 — —	1 1.5 2.5 — —						
(10) [縮み量] [図 No.]	(10) [縮み量] [図 No.]						
— —	— —						
— —	— —						
— —	— —						
— —	— —						
— —	— —						
(—) (—) [図 No.]	(—) (—) [図 No.]						
— — —	— — —						
—	—						
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)						

40KL	50KL						
スクイズ	スクイズ						
40	50						
1.6	1.6						
17	17						
83001～	90215～						
検 査 基 準 値							
21	21						
—	—						
7	7						
20	20						
—	—						
(—)	(—)						
(2000)	(2000)						
(50 ± 5)	(50 ± 5)						
490～534	490～534						
343～382	343～382						
—	—						
—	—						
(—)	(—)						
(—)	(—)						
(—)	(—)						
(—)	(—)						
1	1						
(10)	(10)						
[図 No.]	[図 No.]						

新潟鐵工所

適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85
			アーム最大地上高	m	16	21	25
		適用号機		7B012～	10B001～	11B001～	11B001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	27～29	38～42	36～40
			ロータ回転数	回/min	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
		かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	33～36	26～28	33～36
			チェーンのたわみ	mm	15	15	15
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa	—	—	—	—
			(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	Pa	—	—	—	—
			(min)	(—)	(—)	(—)	(—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (2) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (3) シリンダ	mm	1	1	1
			ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—
			(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)
			(作動計測条件)		(—)	(—)	(—)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	30～40	55～60	55～60
			縮み	sec	75～85	75～80	75～80
			ブーム (2) 伸び	sec	50～55	55～60	55～60
			縮み	sec	80～90	65～70	65～70
			ブーム (3) 伸び	sec	25～35	35～40	35～40
			縮み	sec	35～40	55～65	55～65
			ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
			ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—
			縮み	sec	—	—	—
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)
			(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa	9.81	17.2	9.81	9.81
			水压 MPa	4.3	4.1	4.3	4.3
	空圧機	吐出圧力	MPa	0.69	0.69	0.69	0.69
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

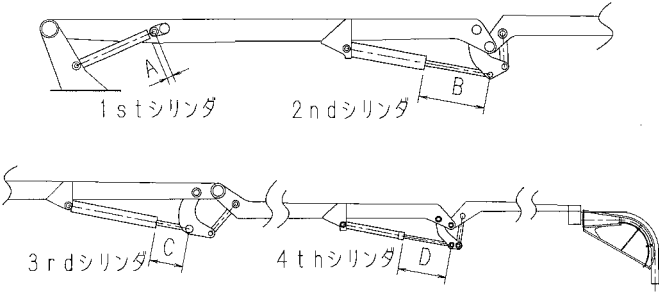
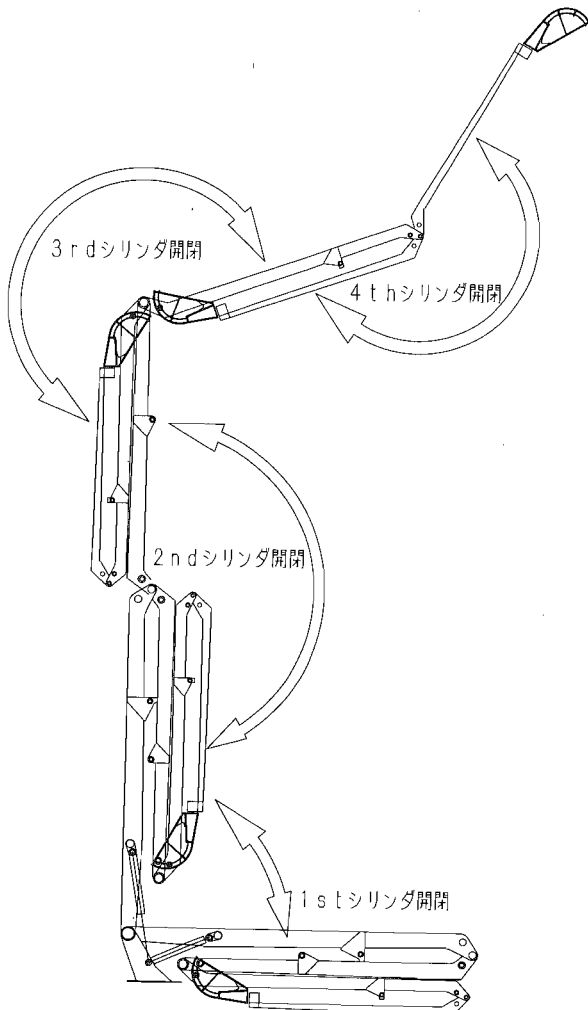
NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001～	11BL001～	～11BS054	11BS055～	12BT001～	13BU001～	9T001～	10T001～
検 査 基 準 値							
36～40 —	36～40 —	36～40 —	31～33 —	32～34 —	26～28 —	38～42 —	32～34 —
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(2165) (2500) (50 ± 5)
33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	33～36 15	26～28 15	33～36 15
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 1 1 —	1 1 1 — —	1 1 1 — —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 1 —	1 1 1 — —	— — — — —
(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(10) (—) [図 No. 1]	(—) (—) [—]	(—) (—) [—]
40～50 110～125	60～65 110～115	60～65 190～220	60～65 190～220	75～82 190～220	85～90 220～240	— —	— —
45～50 90～100	60～65 105～110	80～90 150～180	80～90 150～180	80～90 150～180	95～100 190～200	— —	— —
40～45 75～85	40～45 80～85	55～65 100～120	55～65 100～120	55～65 100～120	80～90 130～140	— —	— —
15～20 55～65	— —	30～40 75～95	30～40 75～95	30～40 75～95	30～40 90～100	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	(1800) (50 ± 5) [図 No. 2]	— — —	— — —
9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	9.81 4.3	17.2 4.1	9.81 4.3
0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (1800) (50 ± 5)	(1800) (2500) (50 ± 5)	(1633) (2500) (50 ± 5)

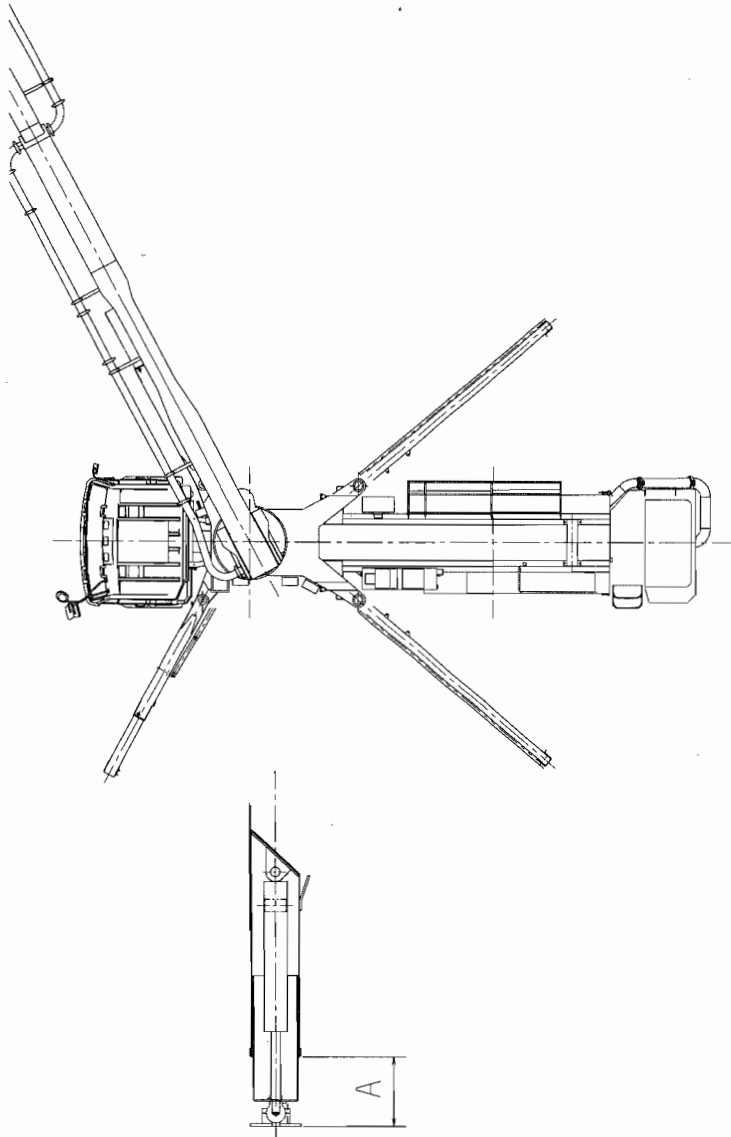
適用範囲		モデル名		NCP7FB	NCP10FB	NCP11FB	NCP11FB-253
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	73	100	110
			最大吐出圧力	MPa	5	8.82	7.85
			7°-M最大地上高	m	16	21	25
		適用号機		7B012～	10B001～	11B001～	11B001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	34.3	30.9	34.3	34.3
		弁シリンダ油圧	MPa	13.2	13.2	13.2	13.2
		かくはんモータ油圧	MPa	6.87	8.34	6.87	6.87
		ブーム油圧	MPa	31.39	27.47	27.47	30.9
		ACCガス封入圧力	MPa	7.2	7.2	7.2	7.2
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	353～392	510～549	510～549	510～549
		旋回ボルトの交換周期	年	3	3	3	3
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	160～180	120～140	120～140	140～160
		(旋回作動角度)	(度)	(360)	(360)	(360)	(360)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1600)	(1800)	(1800)	(1800)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2500)	(1800)	(1800)	(1800)
		(作動油温度)	(℃)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	0.5	0.5	0.5	0.5
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

NCP11FB-264	NCP11FB-303	NCP11FB-324	NCP12FB-324	NCP12FB-334	NCP13FB-364	NCP9T	NCP10T
揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁	揺動弁
115	110	115	110	120	128	90	105
7.06	7.85	5	7.85	7.85	7.85	8.83	7.06
26	30	32	32	33	36	—	—
11BX001～	11BL001～	～11BS054	11BS055～	12BT001～	13BU001～	9T001～	10T001～
検 査 基 準 値							
34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	30.9	34.3
13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	6.87	10.3	6.87
30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	—	—
7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2165)
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(2500)	(2500)
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
510～549	510～549	510～549	510～549	510～549	677～726	—	—
3	3	3	3	3	3	—	—
160～180	280～300	340～380	340～380	340～380	380～400	—	—
(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	(360)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	(1800)	—	—
(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	(50 ± 5)	—	—
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—	0.5
(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	—	(10)
[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	[図 No. 3]	—	[図 No. 3]

新潟鐵工所

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。 10分間の自然降下量をそれぞれ計測する。	図-1 ブームシリンダ自然降下量 
ブーム作動時間	次の順番にてブームシリンダ全ストローク作動時間を測定してください。 1、1st シリンダを伸ばす 2、2nd シリンダを伸ばす 3、3rd シリンダを縮める 4、4th シリンダを伸ばす 5、4th シリンダを縮める 6、3rd シリンダを伸ばす 7、2nd シリンダを縮める 8、1st シリンダを縮める 機種によりホースバスケットブームセクション等が干渉するものもありますので、充分注意して行ってください。 ブームフックは必ず外れていることを確認してください。	図-2 ブームシリンダ作動時間測定要領 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダ 自然伸縮	各ブームセクションは水平にし、先端はドッキングホースのみとする。 ブームは各アウトリガの真上に来る位置にする。 その状態で各アウトリガシリンダの10分間のAの縮み量を測定する	図-3 アウトリガシリンダ自然降下量要領  The diagram illustrates the measurement setup for the natural drop of the outrigger cylinder. The top part shows a top-down view of a vehicle with four outriggers extended horizontally. The bottom part is a detailed cross-sectional view of the outrigger cylinder, showing the piston rod and the measurement point 'A' at the bottom of the stroke.

プッツマイスタージャパン

適用範囲		モデル名		BSF36. 15H	BSF52. 15H			
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁		
			最大吐出量	m ³ /h	150	150		
			最大吐出圧力	MPa	8.5	8.5		
			7'~最大地上高	m	36	52		
		適用号機		2197010001~	2195010001~			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	28	28		
			ロータ回転数	回/min	—	—		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750±50)	(1750±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)			
		かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	40±30	40±30		
			チェーンのたわみ	mm	—	—		
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)		
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750±50)	(1750±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)			
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)			
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)			
		Vベルトのたわみ	mm	—	—			
	ブーム装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	1.5以下	1.5以下		
			ブーム (2) シリンダ	mm	1.5以下	1.5以下		
			ブーム (3) シリンダ	mm	1.5以下	1.5以下		
			ブーム (4) シリンダ	mm	1.5以下	1.5以下		
			ブーム (5) シリンダ	mm	—	1.5以下		
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (—) [図 No. —]	(10) (—) [図 No. —]		
		☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	70±10	103±10		
			ブーム (1) 縮み	sec	95±10	110±10		
ブーム (2) 伸び			sec	95±10	157±10			
ブーム (2) 縮み			sec	95±10	170±10			
ブーム (3) 伸び			sec	65±10	175±10			
ブーム (3) 縮み			sec	45±10	190±10			
ブーム (4) 伸び			sec	45±10	80±10			
ブーム (4) 縮み			sec	30±10	85±10			
ブーム (5) 伸び			sec	—	60±10			
ブーム (5) 縮み	sec	—	65±10					
(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)					
(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)					
(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. —]	[図 No. —]					
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油圧 MPa 水圧 MPa 飛距離 m	— — —	— — —			
		空圧機	吐出圧力	MPa	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)			
	(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)				
	(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)				

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

$[1/2]$ [illegible]

適用範囲		モデル名		BSF36. 15H	BSF52. 15H			
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁		
			最大吐出量	m ³ /h	150	150		
			最大吐出圧力	MPa	8.5	8.5		
			ブーム最大地上高	m	36	52		
		適用号機		2197010001～	2195010001～			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35±1	35±1			
		弁シリンダ油圧	MPa	25±1	25±1			
		かくはんモータ油圧	MPa	25±1	25±1			
		ブーム油圧	MPa	35±1	35±1			
		ACC ガス封入圧力	MPa	9±0.5	9±0.5			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750±50)	(1750±50)			
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)			
車体・安全装置	☆旋回装置	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	8800±100			
		取付けボルトの締め付け	N・m	—	8800±100			
		旋回ボルトの交換周期	年	—	分解時交換			
	☆旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	140±10	220±15			
		(旋回作動角度)	(度)	(365)	(360)			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)			
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750±50)	(1750±50)			
		(作動油温度)	(℃)	(50±10)	(50±10)			
	アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	1.0以下	1.0以下			
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min [図面No.]	(10) [図 No. ー]	(10) [図 No. ー]			
特記事項								

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

検 査 基 準 値							

三菱重工業

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M650BD-56	DC-M650BD-418	DC-A1000BS
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	65	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	4.8	4.8
			ブーム最大地上高	m	16	16	18
		適用号機		6701～	6501～	6001～	12050～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	29/60～30/60	30/60～62	30/60～62	34/55.1～
		ロータ回転数	回/min	—	—	—	58.9
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(2170)	(2170)	(1800±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2170)	(2170)	(1950)
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	40±2	40+4(－2)	40+4(－2)	39±2
		チェーンのたわみ	mm	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(2170)	(2170)	(1800±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2170)	(2170)	(1950)
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		Vベルトのたわみ	mm	—	—	—	—
	ブーム装置	ブーム (1) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (2) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (3) シリンダ	mm	2	2	2	2
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	—	—	—
		ブーム (5) シリンダ	mm	—	—	—	—
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)	(10)	(10)
		(作動計測条件)	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]	[図 No. 1]
		ブーム (1) 伸び	sec	20±5/90°	21±5/90°	21±5/90°	32±5/90°
		ブーム (1) 縮み	sec	43±5/90°	50±5/90°	50±5/90°	60±5/90°
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (2) 伸び	sec	43±5/180°	50±5/180°	50±5/180°	75±5/210°
		ブーム (2) 縮み	sec	45±5/180°	55±5/180°	55±5/180°	75±5/210°
		ブーム (3) 伸び	sec	30±5/265°	40±5/246°	40±5/246°	43±5/270°
		ブーム (3) 縮み	sec	60±5/265°	75±5/246°	75±5/246°	86±5/270°
		ブーム (4) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (4) 縮み	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 伸び	sec	—	—	—	—
		ブーム (5) 縮み	sec	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(2170)	(2170)	(1800±50)
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]	[図 No. 2]
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	23.5	26	26	23.5
		油圧	MPa	4.9	1.8	1.8	標準4.8、高圧7.9
		水圧	m	—	—	—	—
	空圧機	吐出圧力	MPa	1.0	1.0	1.0	1.0
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)	(—)	(—)
		(作動油温度)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR
スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ
標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧60 標準4.9、高圧8.0	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準100、高圧65 標準4.9、高圧7.5	標準107、高圧74 標準5.4、高圧8.2	標準100、高圧60 標準4.4、高圧7.4	標準100、高圧60 標準4.4、高圧7.4
21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	30.6	30.6
10501～	14001～	30001～	31001～	30001～	33001～	20001～	21001～
検 査 基 準 値							
34/57.5～ 58.9	32/56.5～ 58.5	27/60～62	27/60～62	27/60～62	27/58.3～ 59.3	26.5/60～ 27/60	26.5/60～ 27/60
(1800±50) (1950) (40～50)	(1800±50) (1950) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1650) (1850) (40～50)	(1650) (1850) (40～50)
39±2 —	39±2 —	38±2 —	38±2 —	38±2 —	45±2 —	42±2 —	42±2 —
(1800±50) (1950) (40～50)	(1800±50) (1950) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1800±50) (2000) (40～50)	(1650) (1850) (40～50)	(1650) (1850) (40～50)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
—	—	—	—	—	—	—	—
2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 — —	2 2 2 2 —	2 2 2 — —	2 2 2 — —
(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]	(10) [—] [図 No. 1]
32±5/90° 60±5/90°	32±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	63±5/90° 60±5/90°	48±5/90° 71±5/90°	58±5/90° 92±5/90°	58±5/90° 92±5/90°
75±5/210° 75±5/210°	75±5/210° 75±5/210°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	75±5/180° 75±5/180°	103±5/180° 81±5/180°	130±5/180° 100±5/180°	130±5/180° 100±5/180°
43±5/270° 86±5/270°	43±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	47±5/270° 86±5/270°	65±5/270° 88±5/270°	75±5/270° 100±5/270°	75±5/270° 100±5/270°
— —	— —	— —	— —	— —	29±5/220° 63±5/220°	— —	— —
— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1800±50) (40～50) [図 No. 2]	(1650) (40～50) [図 No. 2]	(1650) (40～50) [図 No. 2]
23.5 標準4.8、高圧7.9 —	23.5 標準4.8、高圧7.9 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	26 標準4.6、高圧7.1 —	27.5 標準5.0、高圧7.6 —	26 標準4.6、高圧7.8 —	26 標準4.6、高圧7.8 —
1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)	(—) (—) (—)

適用範囲		モデル名		DC-M700BR	DC-M650BD-56	DC-M650BD-418	DC-A1000BS
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ
			最大吐出量	m ³ /h	標準70、高圧45	65	65
			最大吐出圧力	MPa	標準4.9、高圧8.0	4.8	4.8
			ブーム最大地上高	m	16	16	18
		適用号機		6701～	6501～	6001～	12050～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	23.5	29.4	29.4	23.5
		弁シリンダ油圧	MPa	23.5	29.4	29.4	23.5
		かくはんモータ油圧	MPa	15.2	15.2	15.2	15.2
		ブーム油圧	MPa	27.5	27.5	27.5	27.5
		ACC ガス封入圧力	MPa	—	—	—	—
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(2170)	(2170)	(1800±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2170)	(2170)	(1950)
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—	—	—
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	258.7	258.7	258.7	258.7
		旋回ボルトの交換周期	年	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°
		(旋回作動角度)	(度)	(90°)	(90°)	(90°)	(90°)
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1550)	(2170)	(2170)	(1800±50)
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(2000)	(2170)	(2170)	(1950)
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
	アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	2	2	2	2
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No. ー]	15 [図 No. ー]	15 [図 No. ー]	15 [図 No. ー]
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

DC-A1000BR	DC-A1000BD	DC-SL1000BS	DC-SL1000BR	DC-SL1000BD	DC-SL1100BD-M26	DC-L1000BS	DC-L1000BR
スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ	スイングバルブ	スイングバルブ	板 弁	スイングバルブ
標準100、高圧60	標準100、高圧60	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準100、高圧65	標準107、高圧74	標準100、高圧60	標準100、高圧60
標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧8.0	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準4.9、高圧7.5	標準5.4、高圧8.2	標準4.4、高圧7.4	標準4.4、高圧7.4
21	21	24.6	24.6	24.6	25.9	30.6	30.6
10501～	14001～	30001～	31001～	30001～	33001～	20001～	21001～
検 査 基 準 値							
23.5	23.5	26	26	26	26	26	26
23.5	23.5	26	26	26	26	26	26
15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2
27.5	27.5	27.5	27.5	27.5	27.5	27.5	27.5
—	—	—	—	—	—	—	—
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1650)	(1650)
(1950)	(1950)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(1850)	(1850)
(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
—	—	—	—	—	—	—	—
258.7	258.7	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9	495.9
定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要	定期交換不要
27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	27.5±2.5/90°	46±2.5/90°	42.5 ^{+2.5} _{-4.5} /90°	42.5 ^{+2.5} _{-4.5} /90°
(90°)	(90°)	(90°)	(90°)	(90°)	(90°)	(90°)	(90°)
(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1800±50)	(1650)	(1650)
(1950)	(1950)	(2000)	(2000)	(2000)	(2000)	(1850)	(1850)
(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)	(40～50)
2	2	2	2	2	2	2	2
15	15	15	15	15	15	15	15
[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]	[図 No. 一]

三菱重工業

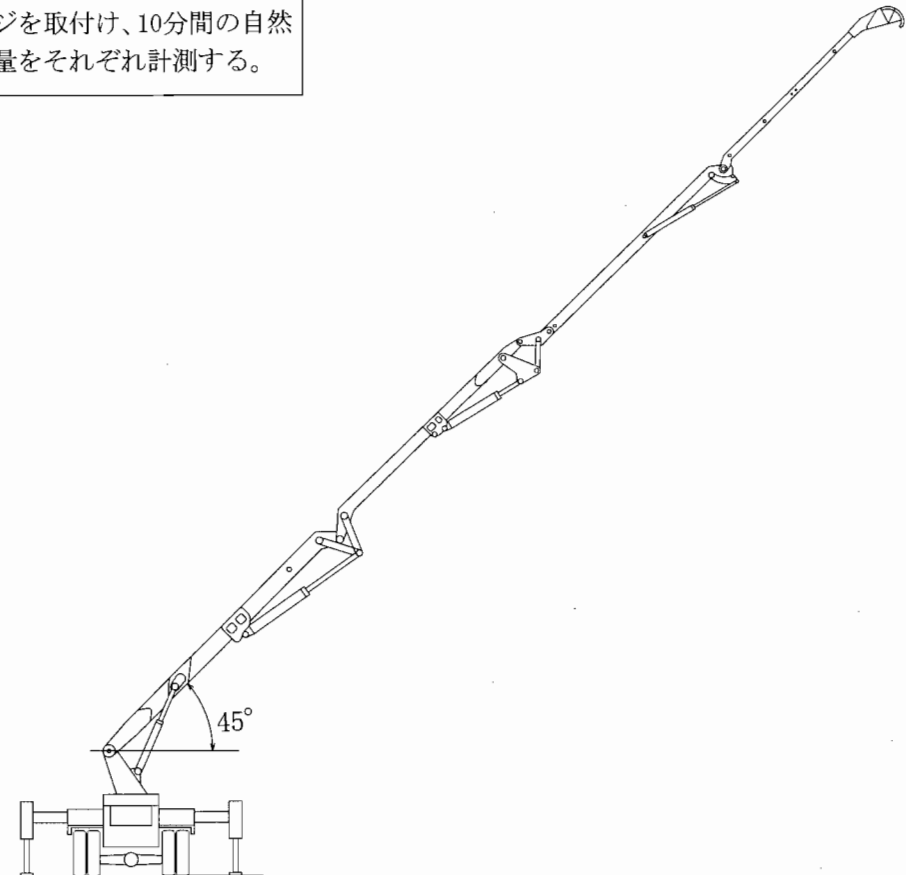
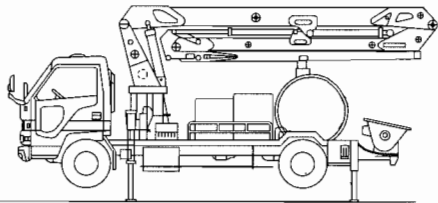
適用範囲		モデル名		DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	
			最大吐出量	m ³ /h	標準100、高圧60	標準107、高圧69	
			最大吐出圧力	MPa	標準4.4、高圧7.4	標準4.9、高圧7.5	
		7°-最大地上高		m	30.6	32.6	
		適用号機			22001～	40001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	圧送装置	ピストンストローク回数	回/min	26.5/60～	27/60～61.2		
		ロータ回転数	回/min	27/60			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1800±50)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850)	(2000±50)		
		(作動油温度)	(°C)	(40～50)	(40～50)		
	かくはん装置	回転速度	min ⁻¹	42±2	42±2		
		チェーンのたわみ	mm	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1800±50)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850)	(2000±50)		
		(作動油温度)	(°C)	(40～50)	(40～50)		
	真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)		
		圧力降下許容値 (保持時間)	kPa (min)	— (—)	— (—)		
		Vベルトのたわみ	mm	—	—		
作業装置	シリンダ 自然降下量	ブーム (1) シリンダ	mm	2	2		
		ブーム (2) シリンダ	mm	2	2		
		ブーム (3) シリンダ	mm	2	2		
		ブーム (4) シリンダ	mm	—	2		
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (5) シリンダ	mm	—	—		
		(測定時間)	(min)	(10)	(10)		
		(作動計測条件)	[図面No.]	[—]	[—]		
		(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No. 1]	[図 No. 1]		
	☆ブームシリンダ 作動時間	ブーム (1) 伸び	sec	58±5/90°	62±5/90°		
		ブーム (1) 縮み	sec	92±5/90°	98±5/90°		
		ブーム (2) 伸び	sec	130±5/180°	140±5/180°		
		ブーム (2) 縮み	sec	100±5/180°	110±5/180°		
		ブーム (3) 伸び	sec	75±5/270°	85±5/270°		
		ブーム (3) 縮み	sec	100±5/270°	115±5/270°		
		ブーム (4) 伸び	sec	—	35±5/220°		
		ブーム (4) 縮み	sec	—	75±5/220°		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	26	26		
		油圧	MPa	標準4.6、高圧7.8	標準5.3、高圧8.7		
		水圧	MPa	—	—		
	空圧機	吐出圧力	MPa	1.0	1.0		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(—)	(—)		
		(作動油温度)	(°C)	(—)	(—)		

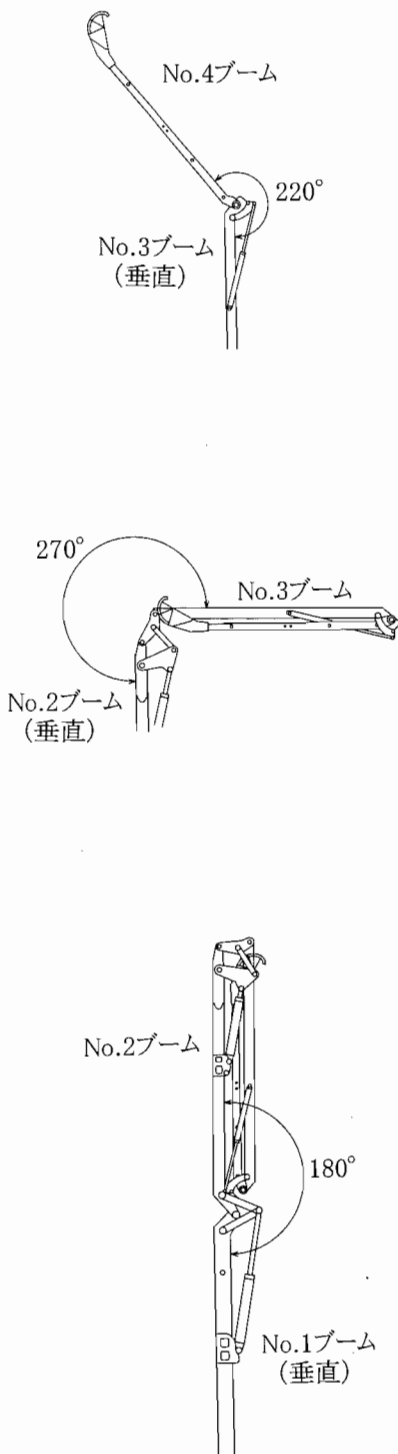
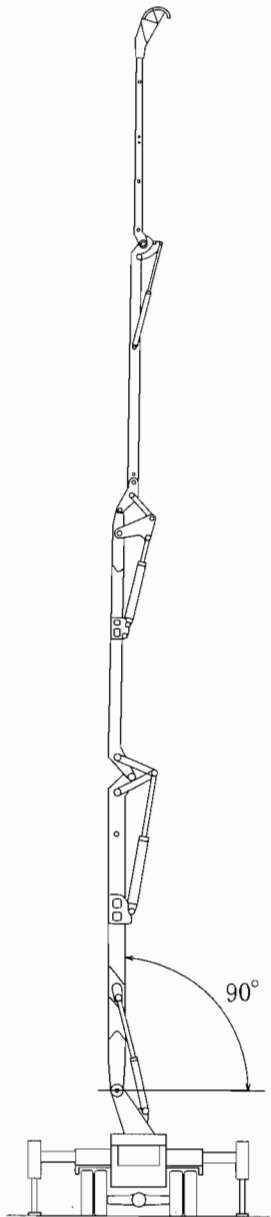
☆印：新車基準値を表す（参考値）。

適用範囲		モデル名		DC-L1000BD	DC-L1100BD-M33		
		主仕様	吸吐弁型式	—	スイングバルブ	スイングバルブ	
			最大吐出量	m ³ /h	標準100、高圧60	標準107、高圧69	
			最大吐出圧力	MPa	標準4.4、高圧7.4	標準4.9、高圧7.5	
			ブーム最大地上高	m	30.6	32.6	
		適用号機		22001～	40001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	26	26		
		弁シリンダ油圧	MPa	26	26		
		かくはんモータ油圧	MPa	15.2	15.2		
		ブーム油圧	MPa	27.5	27.5		
		ACCガス封入圧力	MPa	—	—		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1800±50)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850)	(2000±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)		
車体・安全装置	☆旋回	旋回台取付けボルトの締め付けトルク	N・m	—	—		
		旋回ベアリング取付けボルトの締め付けトルク	N・m	495.9	495.9		
		旋回ボルトの交換周期	年	定期交換不要	定期交換不要		
	☆旋回作動速度	旋回速度	sec	42.5 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°	45 ^{+2.5} / _{-4.5} /90°		
		(旋回作動角度)	(度)	(90°)	(90°)		
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(1650)	(1800±50)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1850)	(2000±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(40～50)	(40～50)		
	☆アウトリガー	各垂直シリンダ	mm	2	2		
		(測定時間) (作業装置姿勢)	min ⁻¹ [図面No.]	15 [図 No. 一]	15 [図 No. 一]		
特記事項							

☆印：新車基準値を表す（参考値）。

三菱重工業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダ 自然降下	No. 1ブーム～No. 4ブームまで 直線 No. 1ブーム仰角 45° で保持す る。 各ブームシリンダにダイヤル ゲージを取付け、10分間の自然 降下量をそれぞれ計測する。	図-1 ブームシリンダ自然降下計測姿勢 
アウトリガシリンダ 自然伸縮	ブームを収納状態にし、アウ トリガを張り出し、10分間の 自然伸縮量を計測する。	図-3 アウトリガシリンダ自然伸縮計測姿勢 

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム作動速度	各ブームシリンダを下図の姿勢で、それぞれの角度を作動する時間を計測する。  No.4ブーム 220° No.3ブーム (垂直) 270° No.3ブーム No.2ブーム (垂直) No.2ブーム 180° No.1ブーム (垂直)	図-2 ブーム作動時間計測姿勢  90°

コンクリートポンプ車 検査・整備基準値表

平成12年3月 初版発行
平成14年6月 第2刷発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)
電 話 03-3221-3661
FAX 03-3221-3665
U R L <http://www.sacl.or.jp>

禁無断転載

印刷 (株)東京技術協会 (10)